

第4回佐原駅周辺地区複合公共施設基本設計検討委員会 会議概要

開催日時： 平成30年1月22日（月）午後1時30分から

開催場所： 香取市役所7階 全員協議会室

出席者： 〈委員〉

大川裕志委員、菅谷長藏委員、圓藤弘典委員、香取清委員、宮永孝子委員、
高木美枝子委員、齋田秀美委員、腰原幹雄委員、旭健一委員、大堀常昭委員

〈事務局〉

総務企画部企画政策課

株式会社佐藤総合計画

株式会社INA新建築研究所

欠席者： 小森哲委員、高岡正人委員、窪田亜矢委員

議 題： (1) 第3回検討委員会の会議概要について
(2) 第3回検討委員会における指摘事項等について
(3) 基本設計の報告について
(4) 外観計画について
(5) 外構計画について
(6) その他

配布資料： 会議次第

委員名簿

資料1: 第3回佐原駅周辺地区複合公共施設基本設計検討委員会 会議概要

資料2: 基本設計書（案）抜粋

資料3: 外観計画について

資料4: 外構計画について

議事内容:

1 開会

2 挨拶

【腰原委員長】

第4回ということで、あと1回を目安に基本計画、基本設計をまとめていきたいと思いますが、こういうものは、本当は議論を重ねれば重ねるほど良いものができるという反面、集中して議論をしないと発散してしまうという2面性を持っています。残り2回、積極的に議論していただきたい。ここでつくるのは建物ですが、それをどう使っていくかということはまた別で、様々なシーンで皆さんが協力をしていただかないと、この建物が単なる箱になってしまうため、是非そのような視点も含めて、本日の委員会等、積極的な議論ができればと思いますので、よろしくお願いいたします。

3 議事

(以降、腰原委員長が議長として議事進行)

議題(1) 第3回検討委員会の会議概要について

資料1「第3回佐原駅周辺地区複合公共施設基本設計検討委員会 会議概要」について、事務局(企画政策課)から説明。

【事務局(企画政策課)】

前回検討委員会の会議概要として委員の発言を要約して議事録を作成した。会議概要の記載内容に誤り等がないか確認の上、本会議概要を市のホームページ等へ公開することを予定している。

会議概要に対し、特に指摘なし。

議題(2) 第3回検討委員会における指摘事項等について

第3回検討委員会における指摘事項について、事務局(企画政策課)から説明。

【事務局(企画政策課)】

第3回検討委員会における指摘事項等については、以下の2点。1点目は「佐原らしさ」の整理と外観への反映、2点目は外構計画の見直し。この2点については、議題4・5の中で説明する。

また、駐車場台数の確保及び用地買収範囲の拡大については、継続課題としている。

議題(3) 基本設計の報告について

議題（3）基本設計の報告について、資料2「基本設計書（案）抜粋」を基に、事務局（I N A新建築研究所）から説明。

【事務局（I N A新建築研究所）】

現在、基本設計の最終成果品をまとめる段階に入ってきており、その内容について確認頂きたい。今回は基本設計書の抜粋を基に内容を説明する。

事務局（I N A新建築研究所）より、設計内容の説明。

【宮永委員】

夜間の利用を想定して、3階に学習室を配置したとのことですが、研修室の配置などを考えると、学習室は大きすぎではないか。

【事務局（企画政策課）】

研修室を出来る限り大きくとるために、図書館から学習室へつながる階段と吹抜けを中止し、研修室を広げるなど、研修室拡大の改善を図っている。学習室については、当初90席程度予定していたが、現在78席に縮小している。また、図書館内にも閲覧スペース等を確保しており、図書館の面積自体は現状とほぼ変わらない、若しくはそれ以上の面積を確保している。研修室については、前回提案から、改善を図ったと考えている。

【宮永委員】

市民ワークショップ参加者からも意見がありましたので、再度確認しましたが、これからの未来の香取市を背負って立つ若者の勉強も必要ですから大変良いと思います。また、図書館閉館後も学生たちが利用できるということですので、わかりました。

【腰原委員長】

部屋に名称をつけてしまうと、比較的限られた用途の部屋だと感じてしまうが、1階のイベントスペースやメディアスペースなどでも、研修室と内容的には同等の活動ができると思う。この施設の床面積は、ある程度限られているため、他の施設との関係、より、まち中のそういったスペースと連携していくなど、これから運用の方でむしろ広げていき、まちを活性化するというアイデアというのも提案していただきたい。

【高木委員】

3階の社会福祉関連に関する相談をされる方は、人混みを通してその場所に行くというよりは直接その場所に入れるというような工夫が必要ではないか。立体駐車場が設置されるのであれば、そこから直接3階へ入る連絡通路等をつくるといったことも考えられないか。

【事務局（企画政策課）】

社会福祉の相談室やふれあいステーション（不登校児を支援する施設）は、エレベーターに近接して配置しており、出来る限り動線を短くするよう配慮している。立体駐車場については、今後の敷地の検討等も必要なため、実施設計にて検討していきたい。

また、福祉系の動線として、1階の車寄せやハンディキャップ用駐車場から近い東側のエレベーターから上っていくことを想定しているため、一般の来訪者が利用する西側の動線（階段・エレベーター）と錯綜することはないと考えている。

【高木委員】

エレベーターだと途中で止まった際に違う人が出入りしてくるなどということがあり、乗れないという方もいらっしゃる。そういった意味では階段で上がって直接相談できる場所に行けるといようなプライバシーへの配慮が必要かと思う。

【齋田委員】

図書館と1階の子育て支援施設が吹抜けのみで直接行けるわけではないようだが、子どもと大人が1・2階で分かれたときに、すぐに移動が出来ないため、目が離れてしまうのではないか。また、学習室については、中・高生が学習のために遅い時間まで使うということで、見守りや声かけなど、父兄との連携も含め、配慮が必要かと思う。

【事務局（INA新建築研究所）】

当初、この吹抜けには階段を設置していたが、図書館側から将来的なBDS（本のセキュリティシステム）対応を考慮すると、出入口が多くなることで本の管理に問題があるとのことから、階段は中止とし、吹抜けの視覚的な連携のみを残す対応とした。

【腰原委員長】

本来の目的としての視線の連続ということではなく、にぎわいの連続が目的に変わったということかと思う。

【大川委員】

観光客の方々に対して入りやすいエントランスに配慮する必要がある。

【菅谷委員】

社会福祉関係の事務所のスペース等も確保されており、期待している。隣にボランティア室があるが、どのようなことをイメージしているのか。

【事務局（企画政策課）】

現在、社会福祉協議会に登録されているボランティア団体が、日中等作業をするスペースということで想定している。ボランティア活動の中で、様々な準備作業等が発生するため、そういった方たちが集まりやすく気軽に作業ができるスペースということで設定している。

【圓藤委員】

平成30年度の国の予算で、子育て世代包括支援センターの全国展開というのが予算化されてきている。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する子育て世代包括支援センターの全国展開ということで、こういった機能を支援センターの機能とあわせて、ここに持たせていければと思う。

また、最近、何か研修をする際に、プロジェクターなどの機器を使うことが非常に多くなってきている。スクリーンを設置するのか、もしくは壁自体をスクリーンが映せるような壁にしてしまうなど、色々と予算を検討する上でもあるかと思うが、利用しやすい研修室にしていきたい。

最後に、今後の検討課題となるかと思うが、Wi-Fiなどのメディア環境の整備についても検討していきたい。

【事務局（企画政策課）】

子育て世代包括支援センターについては、子育ての担当部署より相談を受けている段階であり、今後協議していくということで継続の課題としている。

2点目のプロジェクター等の設置については、スクリーンは、多目的ホールやメディアスペースには電動式のスクリーンを想定している。その他については、現在の公民館同様、スクリーンとプロジェクターを貸し出す形式を想定している。

3点目のWi-Fiについては、市内で利用されている香取フリーWi-Fiを館内に導入する予定。館内全館でWi-Fiが繋がると考えている。

【腰原委員長】

様々なところでプロジェクター等を使わせていただくことがあるが、添えつけ型が必ずしも良いわけではなく、機能がどんどん変わってきてしまう中で更新していくという意味では、今のような貸し出し型というのが良い場合もあると思う。その辺これから時代も変わってくるため、色々と検討していただきたい。

【香取委員】

図書館に入っている読書サロンで飲食可能なメニューには、どのようなものがあるのか。

【事務局（I N A 新建築研究所）】

基本的には販売は自販機の飲料のみで、自前の弁当等をここで食べるといった程度のことを想定している。

【香取委員】

承知した。

また、図書館の関係で、県の図書館3箇所が1箇所になるという構想があるが、この県の図書館との連携など（良いところはまねをする等）の考えがあれば教えて欲しい。

【事務局（佐原中央図書館）】

県立図書館の構想は、中央図書館と西部図書館、東部図書館の3本立てを、中央館を建て直す際に東部と西部の支所などの職員、資料等も一部含めたものを中央館に統一し、サービスの効率を図ると聞いているが、中央館一本となるとやはり遠いということもあり、今までと同じサービスがなかなか受けにくいのではないかと思われるため、東部図書館は残してもらいたいということでパブリックコメントに返答している。

【香取委員】

潮来図書館の視察とワークショップがあると思うので、その辺の詳しいことを皆さんにお聞かせいただければと思う。

【事務局（佐原中央図書館）】

潮来図書館の方に今週日曜日の午後、移転に係る意見交換会ということで皆さんに参加いただく予定。事前の質問として上記の件を伺ったが、当日潮来図書館を見て説明を受けてからとの意見が多かった。

【香取委員】

承知した。

立体駐車場と用地買収の件、現在駐車台数が30台程度不足しているとのことだが、予算の関係を含め、どのように考えているのか。

【事務局（企画政策課）】

立体駐車場の整備及び用地買収並びに南側道路の拡幅については、来年度これに要する予算は、要求していない状況。担当課の中でコスト・機能を再度考え、用地買収に踏み切るべきか、立体駐車場を整備すべきかというものを、来年度前半期をかけて、再検討していきたいと考えている。

【高木委員】

壁際の本を読むスペースが少し少ないのではないかと思います。東部図書館に遅い時間に行くと満席となっていることもある。(設計には) 席を配置していないスペースもあるので、そちらにもテーブルや椅子を配置した方が良いと思う。

【事務局（I N A 新建築研究所）】

限られた面積の中で蔵書数を確保した上で、最低限の必要な座席数を確保したというところが、現段階の計画。書架の横に小さな椅子を置くだけでも、一時的に本を読むことはできるため、読書スペースの増加を実施設計の課題として検討していきたい。

議題（４）外観計画について

議題（４）外観計画について、資料３「外観計画について」を基に、事務局（I N A 新建築研究所）から説明。

【事務局（I N A 新建築研究所）】

江戸の町屋のデザインに近代建築の彩りが重なっている風景を佐原らしさと捉え、江戸から近代へと歴史的建造物が今も使われ、なお生き続けている粋な町を象徴する顔づくりを外観コンセプトに掲げた。３つに分節しながらも、それぞれ棟ごとに異なる近代建築のモチーフをアクセントとして入れ込むことで、渾然一体となった佐原らしい顔作りを行った。

【大川委員】

予算の関係で、前回４８億から４０億に納めるということで、５階建てから４階建てになったということだが、今回提案の外観デザインは建築費的には問題はないか。

【事務局（I N A 新建築研究所）】

今後精査していくが、おおむね予算の範囲内と想定している。

【大川委員】

佐原駅は佐原の町並みのイメージということで、ぴったり合っているような気がするが、この４階建ての建物では普通の佐原のイメージをつくるのは難しいと感じる。ただ、それを近代的にイメージしたという感じでは良いのではないかと思います。

【宮永委員】

町並みの中で三菱館が佐原の象徴としても上げられるが、その赤れんがをデザインに折り込んでおり、とても良くなったと思う。これに見合った中身を充実させ、また我々使う側が、

これをいかにまちの活性化に繋げて良くのかも重要。

【腰原委員長】

現代建築はモノトーンの白黒でまとめるというのが割と定番になっており、逆に色彩をつけていくのはデザインとしても非常に難しいところだと思う。その辺の挑戦をしていくのか、おとなしくやっていくのかというのが最後議論になるのではないかと思う。

「建物を小さく見せる」と表記があるが、「小さく見せる」というのはマイナスのイメージを受ける。町の中にこの建物が建つという中で、圧迫感を持たせないということが趣旨で、小さく見せるというよりは、「周囲に調和した」など、何か別の言葉で表現した方が良いかと思われる。

議題（５）外構計画について

議題（５）外構計画について、資料４「外構計画について」を基に、事務局（INA新建築研究所）から説明。

【事務局（INA新建築研究所）】

小野川へと導く４つの庭と通りを設けることで、人々を小野川へと誘導する小野川観光の起点となる施設の実現を目指す。

【圓藤委員】

子ども広場へ出るためには、屋内多目的広場から靴を持っていかなければならない。屋内多目的広場については、下足スペースとする考えもあるのではないか。

また、建物の格子が茶色系である中で、建物の周りのスペースには木をどんどん植えていって欲しい。建物が緑とマッチングする、それも一つの重要なポイントではないかと思う。

【事務局（INA新建築研究所）】

屋内多目的広場の一部をカウンターの前までは下足にして子ども広場とつなげることによって、そういうストレスを解消することも可能。今後の検討材料としていきたい。

植栽計画については、やはり維持管理もあるため、こちらについてはそれらを前提とした上で可能な限り検討する。

【腰原委員長】

車は、裏側の車寄せしか寄りつけない計画か。

【事務局（INA新建築研究所）】

お見込みの通り。

【腰原委員長】

上階の公民館機能や1階のイベントスペース・佐原通りなどへの機材搬出入というのほどのように行うイメージか。

【事務局（I N A新建築研究所）】

イベントスペースに関しては、北側の窓が出入り可能なものとなっており、北側の駐車場から出入りが可能。また、管理室付近の管理扉から搬入し、エレベーターにて上階へと行ける計画としている。

【腰原委員長】

使われる方としては問題ないか。

【事務局（I N A新建築研究所）】

イベントが行われる場合、北側の駐車場には車を停めず、イベントや搬入スペースとして利用することを想定している。

【宮永委員】

文化祭等で、お茶や生け花の方が展示の際に、お茶器などの重いものを運ぶことがあり、大変苦労している。高齢の方でもスムーズに運ぶことができるような体制にしていけるとありがたいと思っている。

【事務局（I N A新建築研究所）】

東側のエントランスは屋根つきの車寄せとなっており、段差もなく近くのエレベーターまでアクセスが可能なため現公民館に比べてスムーズであり、エレベーターも広がっているため、搬入については改善できていると考えている。

【事務局（I N A新建築研究所）】

補足です。今回最上階のホールを要望に合わせ250名、かつ色々なものを出し入れできるよう多目的につくる。さらには防音や舞台機構等、様々な機能を充実させているため、現状よりも使っていただきたいというのが我々設計者の思い。指摘のあった搬入路については、頻度をもう一度今の現況の頻度と、今後どの程度の頻度が想定されるか、あるいは内容によって、どのくらい搬入車が必要になるかによって、もし専用のスペースが必要な場合、備蓄倉庫群の一番右の部分を搬入車専用のスペースにかえ、そこにバックでとめていただき、そのすぐ下側の扉から入ってもらい、廊下を進んで搬入用のエレベーターに行けるとい、専

用の通路の検討が必要だと感じた。引き続き検討していく。

【腰原委員長】

今、提案いただいた案の方が良いかと思う。

【宮永委員】

多目的ホールは、普段250席の利用がない場合、間仕切りなどで2分割可能か。

【事務局（INA新建築研究所）】

間仕切り等は計画していない。

【宮永委員】

間仕切りの設置はできないか。

【事務局（INA新建築研究所）】

1階のメディアスペースやイベントスペースが防音などにも配慮された部屋になるため、そちらを使っていただくのが良いかと思う。

【宮永委員】

承知した。

【大川委員】

今の図書館や公民館は利用目的のない方は立ち寄らない状況。イベントをしていないときには、ふらっと立ち寄れるような憩いの場として開放するような設えにできれば、そこに人がいれば活性化にも繋がり、また他の公民館とか図書館の利用にも繋がっていくと思う。

【事務局（INA新建築研究所）】

イベントスペースはメインエントランスの正面となるため、企画展示などの利用に加え、それ以外でも積極的に外に開いていくような運営をしていただければと思う。計画上も可能な限り佐原通り側や外部側をガラス面にする等、いつでも明るく開放的に誰もが入りやすいような居室づくりを心がけている。

【大川委員】

観光客の方が入ってきても、がらんとしていたら寂れた印象を与えてしまう。様々な住民の集いがあれば良いと思う。

【腰原委員長】

ヨーロッパと違い、日本人は広場の使い方が上手くなく、計画的に広場ができては広すぎて賑わいのない、狭すぎて物が置けない等、様々な問題がある。そういった意味では、この佐原通りは屋外ではなく屋内の中でのそうした井戸端会議的に集える場所、またイベントスペースは外部から、線路沿いの歩道からも見えるような位置になるため、ここに目的を持たない人が集まるというようなことが少し雰囲気として出てくる。それから市民の方も、そこをうまく使えるような提案というのをしてもらえる機会をつくっていただければというふうに思う。

議題（6）その他

特に意見無し。

4 その他

【事務局（企画政策課）】

2月16日から3月15日までの1ヶ月を、内容の周知及び意見募集期間として、パブリックコメントを実施する予定。今回の検討委員会で、主な検討事項についての協議は終了となるが、今後、本日いただいた意見等も含め、さらに内容を整理し、基本設計書（案）として2月上旬をめどに取りまとめを行う。委員の方々には、パブリックコメントを行う基本設計書（案）をパブリックコメント開始前に郵送にて送付する。

次回、第5回検討委員会は3月15日の木曜日、午後1時半から、場所は市役所7階の全員協議会室での開催を予定。次回の第5回検討委員会は、基本設計に係る検討委員会としては最終回となることから、これまでの総括として基本設計書（案）及びパブリックコメントの経過報告を予定している。

【圓藤委員】

3月15日は予定がつかずおそらく欠席となるかと思われるため、1点確認したい。この計画で概ね基本設計というのができ上がってくることになるかと思うが、完成していくまでの流れというのはどのようなようになるか。

【事務局（企画政策課）】

以前は平成33年度中に開館を目指すということで説明を行っていたが、12月に香取市の長期的な財政推計を行ったところ、33年度中に開館を目指す、借金の返還のピークは11年後、それから12年後にかなり高いレベルで、苦しい状況になることもあり、借入金をなるべく平準化するため、その開館に至る時間を1年ないし2年延ばしていくことを内部

で検討している。

この後のスケジュールについては、この基本設計（案）を一旦取りまとめ、次の実施設計をどのような方法で発注していこうかというのを、来年度1年間検討していく想定。財政が厳しい状況なため、香取市にとって財政的に有利で、なおかつこの施設を建てようとするときに、良いものができる発注方法を、少し時間をかけて検討していきたいと思う。

5 閉会